

平成22年度一般会計当初予算説明資料

6款 農林水産業費  
 3項 農地費  
 2目 土地改良費

耕地課（内線：7336）→ 農地・水保全課  
 （単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 炭素貯留地下かんがい推進事業	20,430	0	20,430	20,000			430	
トータルコスト	28,498千円（前年度 0千円） [正職員：1.0人]							
主な業務内容	炭素貯留関連基盤整備、地下かんがい及び竹炭等農業利活用研究会の設置運営							
工程表の政策目標（指標）	—							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

水田の用排水調節を地下水位で制御する地下かんがいシステムを整備し、併せて土壌改良や暗渠疎水材に竹炭などを投入して農地土壌への効率的な炭素貯留方法等を検討し、営農作業の省力化と品質向上に繋がる低コスト農業の実証を行う。

2 主な事業内容

（単位：千円）

項目	内容	予算額
炭素貯留関連基盤整備	営農効率化や品質向上につながる先進的技術を用いた基盤整備を行う。 ・地下かんがいシステム (水位自動調節器付、疎水材に竹炭利用) 鳥取市及び倉吉市2地区 A=3.0 ha	20,000
地下かんがい及び竹炭等農業利活用研究会の設置運営	地下かんがいを利活用した営農手法や新たな転作作物導入の検討に向けた推進体制を確立したり、竹炭や木炭について、土壌改良材など多用途に営農利用する手法を研究し、基盤整備の際の効果的な導入方法等について検討していく。	430
計		20,430

3 これまでの取組状況、改善点

平成19年度から3年間、「エコ水田整備技術モデル事業」（事業主体：鳥取県土地改良事業団体連合会）において、地下かんがいの試験施工(0.3ha)を実施してきた。その成果を踏まえて、低コスト農業の実証と温室効果ガスの吸収源対策としての炭素貯留の検討を行う。